

不明疾病の現地調査表(10)

1 届出年月日時間：平成22年4月24日9時

2 届出者：有田主査（都城家保）疫学調査[]農場の餌関係）

・家保の[]獣医師、[]の専属獣医師）への電話聞き取りにより判明

[]獣医師 []（岡田・戸高対策監の調査後、都城家保対応）

3 発生農場

氏名：[] []（[]発生農場の近く）

住所：川南町大[]0

4 飼養頭数：肥育農家

親：584頭、子牛（12ヵ月齢未満）：141頭 合計725頭

5 家畜保健衛生所立入調査

・11:00農場到着。（齊藤、松川、堀内）

・13:00立入検査終了。

6 病畜の概要

獣医聞き取り

・4/8頃、3棟中道路側の一番手前の牛舎に食欲不振がみられた。

・4/23（夕）から流涎、口腔内の潰瘍、び爛等の症状が4～5頭みられた。

家保立入（4/24）

・全体的に流涎の牛がみられる。（3棟とも）

・鼻腔、鼻鏡のび爛、潰瘍、舌の粘膜剥離（4～5頭確認）。蹄には異常なし。

7 給与飼料

・後でまとめてFAXがくる。

8 過去7日間に立ち入った者の有無

獣医師：[]獣医師、従業員8人（社員2人、パート1人）、牧場長1人

従業員については、2例目発生後寮住まいをさせている。

9 その他

・[]獣医師には、巡回自席を要請し了解をもらう。

土地は7/11
埋却するより土地は所有

(別記様式2)

不明疾病、現地調査表

家畜保健衛生所
発生No.

- 1 報告者 氏名: [Redacted] 年月日: 平成22年4月24日 時 分
- 2 家畜所有者 氏名: [Redacted] (株) [Redacted] 氏名
住所: [Redacted] (電話番号: [Redacted])
畜舎の所在場所(家畜所有者の住所と異なる場合): [Redacted]
- 3 現地調査の時間: 平成 年 月 日 時 分 [Redacted]
- 4 飼養頭数: [Redacted]
(乳牛、肉牛、豚等の畜種別、繁殖、育成又は肥育等の用途別に報告する)

4/23
17:00
北

畜種	肥育 725ト								備考
	繁殖	育成	子	肥育	繁殖	育成	子	肥育	
用途									
飼養頭数			141	584					

- 5 病畜頭数(畜種別、用途別、耳標番号): 出荷者1ト
- 6 病歴、症状、病変の大要: 4~5ト(肥育和) 12月時酒3~4ト
- 7 診断: 4/24 39.2~39.5℃ 鼻腔、鼻鏡のびらん、流涎、舌炎、歯肉粘膜(カ)
- 8 病鑑材料の採取*: ウイルス用(部位、検体数) 口腔(上皮細胞、粘膜) 蹄には付着、その他(部位、検体数)
- 9 当面の措置状況: 出入口の閉鎖、家畜の繋留、消毒槽の設置、排水口閉鎖、その他()
- 10 過去21日間の当該農場における家畜の移動
移出: ナシ
移入: ナシ
- 11 給与飼料の種類、産地: 本社から文書で取り → 2016 FAX
- 12 残渣物給与の有無、内容: 無・有(内容:)
- 13 最近の海外渡航者の有無: 無・有(国名:) 渡航目的:)
" 海外からの物品の有無: 無・有(国名:) 品物:)
- 14 過去7日間に接触した(立ち入った)者の有無
① 獣医師: 無・有(氏名: [Redacted])
② 家畜人工授精師: 無・有(氏名: [Redacted])
③ 家畜商: 無・有(氏名: [Redacted])
④ 削蹄師: 無・有(氏名: [Redacted])
⑤ 技術者: 無・有(氏名: [Redacted])
⑥ その他: 無・有(氏名: 工場の人、3人(2人) + 牧場互)
- 15 畜主の管理する他の畜舎の有無: 無・有
所在地: 川内町以外に3ヶ所(豊後市2ヶ所、MY15町) 1ト
畜種用途別飼養頭数: [Redacted]
- 16 付近の畜産農家の有無: 無・有(有)
(肉用牛繁殖 戸、肉用牛肥育 戸、酪農 戸、養豚 戸)
- 17 生乳、集乳所の所在地: 出荷先:
- 18 発生の原因*: [Redacted]
- 19 殺処分予定頭数*: 牛 豚 めん羊・山羊
死体処分方法: 焼却、埋却、その他()
- 20 その他参考となる事項

県畜産課からの指示事項
(注) 診断が陰性の場合、※印は記入の必要なし

高鍋 5ヶ所
木村 1ヶ所
百敷 2ヶ所
張 1ヶ所

とびとび畜舎の
付録